



# くれよん もり組



## あけましておめでとうございます

新しい年が始まり、今年度のクラスも3か月となりました。残りのクラス生活を楽しく過ごしていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

12月の【子ども会】にご参加いただき、本当にありがとうございました。当日は温かな拍手に見守られ、練習の成果を力いっぱい見せようとする姿が見られました。本番後「あ～、楽しかった！」「ドキドキしたけど頑張った！」という声が聞かれました。この経験は子ども達にとって大きな自信とかけがえのない思い出になったことだと思います。



### 言葉での伝え合い

幼児期の終わりにまでに育ってほしい「10の姿」の中に「言葉での伝え合い」という項目があります。「言葉での伝え合い」とはどういうことか…単に「おしゃべりが上手になる」ことではありません。

「自分の気持ちや考えを相手にわかるように伝えようとする」「相手の話を聞く」ことです。これらは、コミュニケーションの土台となる大切な力となります。

友だちそのケンカや、やりたいことが違う時、「やめて！」「貸して！」という言葉だけでなく、理由や気持ちを言葉で伝えると…「〇〇嫌だったからやめてほしい」「今使っているから、終わるの待ってね」などとなります。

園では、最初からうまく言葉で伝えられない場面もたくさんあります。そんな時は、大人がすぐに解決するのではなく、間に入ってそれぞれの「言いたかった気持ち」を丁寧に汲み取り受け止めて、言葉にすることを大切にしています。

例：「悲しかったんだね」「〇〇っていってみようか」と大人が代弁することで、

「こう言えば伝わるんだ」と少しずつ経験を積み重ねることができます。

お家에서도、やっていると思いますが、「どんな気持ちだった？」「どうしたかったの？」と気持ちを言葉にすることと「そう思ったんだね」という受け止めも意識して、

保育園とご家庭とで協力しながら「伝え合う力」を育んでいけたらと思います。

### いっしょにあそぼ♪

積み木やカプラでの遊びが盛り上がっているもり組さんの子どもたち。作り始めはそれぞれの場所で遊んでいたりするのですが「これはおうち」「高～くするの」「東京タワーを作る」などイメージしたことや物を言葉で発信すると周りにいるお友達と「なにつくるの？」「一緒につくろう」「入れて」など言葉でのやりとりにつながり遊びがより発展していく姿が見られています。自分のイメージややりたいことを言葉で表現して発信していくよう具体的な言葉にして相手に伝える支援を大人もしてあげたらと思っています。



### ばか！やだ！きらい！

お友達同士であそんでいると自分の思いと相手の思いがすれ違ったトラブルになることもしばしば…自分の思いがうまく伝えられなかったり、相手の思いを受け入れたくなかったりという場面ではついつい「ばか」「やだ」「きらい」などといった一言で自分の「いやだ」という気持ちを伝えてしまうことも…そんな時は大人が間に入って具体的な言葉にすることでそれぞれの感情を整理したり、自分や相手の感情を知ることができるよう支援しています。遊びの中でたくさん言葉でのやりとりが楽しめたらと思っています。



### きいてきいて！

「言葉での伝え合い」を育てる中で最近は朝のおあつまりで「お友達のお話を聞く」という事を取り入れています。

普段のやりとりの中でも「これ貸して」「一緒に遊ぼう」等、お友達のお話を聞く場面があり、「言葉での伝え合い」がうまくいかないと自分のお話だけ「聞いて聞いて」となってしまいます。

そこで朝のおあつまりでは静かにお友達のお話をきいて何を話していたかクイズにしたりして、楽しみながら「言葉での伝え合い」を育てています。まずは聞いてもらう喜びを沢山感じてもらう中で相手の話も聞いてみようと思えるようになっていくと嬉しいなと思っています。

